

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3「修正後」

令和4年1月27日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	<p>上里町内の公共交通網の利便性を向上させ、持続可能な地域公共交通を実現させることを目的に令和2年3月に策定した「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、定時定路線のあらゆる可能性を追求するため、令和3年3月に支線(北部・南部)ルート再編を実施した。2ルート往復型であったものを4ルート循環型へと変更した。それにより、1ルートあたりの増便と速達性が確保された。</p> <p>駅を中心としたまちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していく準備をしている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	<p>【目標】</p> <p>①年間利用者数 18,500人 ②高齢者無料パスの発行件数 73人</p> <p>【実績】</p> <p>①年間利用者数 13,335人 ②高齢者無料パスの発行件数 48人</p> <p>①年間利用者数 ②高齢者無料パスの発行件数ともに、目標未達であった。</p>	<p>年間利用者数については、昨年度(13,080人)より増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響や令和3年3月の支線(北部・南部)ルートのルート再編に伴う利用者の定着が不十分であると考えられるため、目標値には届いていない。</p> <p>ルート再編時には、利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」を過去に申込みした方に、再作成することにより、既存利用者の混乱を避け、引き続き利用いただけるよう案内をした。また、区長会や老人クラブ連合会等の会議時に新ルートの周知を積極的に実施した。今後も利用促進を実施していくとともに、毎年実施しているアンケート調査や利用者OD調査については、引き続き実施し、改善事項に取組んでいく。</p> <p>高齢者無料パス発行については、引き続き制度周知を実施していくとともに、無料パスの発行要件となる交通安全講習会について開催回数を増やす等の検討をしていく。</p> <p>上里町地域公共交通網形成計画に基づき、駅を中心としたまちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していく。</p> <p>また、持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的とした、バス車内への広告掲載についても実施していく。</p>